



第 40 回国際キワニス日本地区年次総会西宮大会

日時：2016年9月9日（金）14:10～15:50

場所：大阪国際会議場 12階 特別会議室

1. 開会宣言：定刻に倉田ガバナーから開会宣言がなされ、日本地区規約第3条第5項cに基づき、議長に就いた。
2. 国歌斉唱

3. ガバナー並びに来賓挨拶

(1) 倉田ガバナー

国際キワニス本部からのご来賓をお迎えし、多数の日本地区キワニアン及びご家族ご参加のもと、第40回国際キワニス日本地区年次総会を開催できることを心よりお喜び申し上げます。大会期間中、年次総会をはじめ、各種会議、表彰式、懇親会やツアーにおいて、皆様全員が十分な成果を得、各クラブに持ち帰り、今後の活動に役立ててくれることを願う。

今年度はキワニスが新たな世紀に踏み出した記念すべき年。国際キワニス初の女性会長スー・ペトリシンの掲げるキワニスのモットー、”Serving the children of the world”に呼応して、私は昨年10月「キワニスは地域子ども達と共に活動します」というスローガンを掲げ、成長戦略、奉仕活動、次世代の育成、キワニス財団との連携を重点目標として今年度の活動をおこなってきた。皆様方の熱意ある行動の賜物としてそれぞれに成果を上げている。

最後に、八木良三会長、小池詳司実行委員長をはじめ、西宮キワニスクラブの皆様には、全国のキワニアンを代表して心より御礼申し上げます。

(2) 海外ゲストの紹介

事務総長より本日お迎えしている3名の海外ゲストが紹介された：元国際会長のブライアン・キューナット氏、次年度 KIF 会長で日本地区の KIF カウンセラーのファン・チア・シン氏、ネパール・ルンビニ・クラブ会長のディーパク・バーンダリ氏。

なお、KI カウンセラーのポリー・ラット氏は来訪予定だったが体調不良につき残念ながら来られなくなった。

(3) ファン・チア・シン KIF カウンセラー



今年、また日本地区大会に出席できることを光栄に思う。

2016年10月1日より、私はアジア太平洋地域から初の国際キワニス財団会長となる。

エリミネイト・プロジェクトではすでに目標を超えている日本地区にお祝い申し上げます。また、キワニス子ども基金にも日本地区は大変大きなご協力をいただいている。皆様に感謝申し上げますととも



に、大会のご成功をお祈りする。

4. 総会議題並びに報告事項

事務総長より、クラブ数 33 に対し 31 クラブが出席、地区規約第 6 条第 14 項に基づく必要な定足数の 3 分の 1 を超えており、本総会は有効に成立している旨報告があった。

第 1 号議案：2016-2017 年度事業計画書並びに予算書

次期ガバナーより来年度事業計画（案）が説明された。重点項目として、①成長戦略（3 クラブ新設、325 人の新会員の確保）、②次世代人材の育成（SLP）、③看板プロジェクト（Signature Project）の拡大、④世界のキワニスクラブとの国際交流の拡充、⑤児童虐待防止活動、日本地区の財政基盤の強化、が掲げられた。

次いで事務総長より来年度予算書（案）が提示された。委員会活動が活発化していることに鑑み、その予算を少し多めに取った。議長が一括して審議を求めたところ、満場一致で承認された。



第 2 号議案：2016-2017 年度役員、監事の選任

次年度の役員として、ガバナーに藤原武平太（東京）、次期ガバナーに佐藤嘉昭（仙台）、事務総長兼財務担当に伊藤一實（東京）の各氏が選任された。また、監事に鏑木栄胤（千葉）が承認された。なお、その他の人事についても資料の通り報告され、了承された。

第 3 号議案：第 42 回日本地区年次総会開催地

平成 30 年の年次総会が 9 月 7 日、熊本の ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイで開催されることが承認された。

第 4 号議案：西宮大会決議（案）

西宮大会決議については役員会からの提案通り、満場一致で承認された。

第 5 号議案：ASPAC 大会準備積立金について

事務総長より本件の経緯について説明があった：ASPAC 大会は 8～10 年に一度開催することになるが、大変費用がかさむため、その準備をしたらどうかとの提案が、5 月 20 日の第 2 回役員会で山口副ガバナーより出された。これを受け、役員からの賛否を募ったところ、先ほどの役員会で全会一致で賛成となった。会員一人当たり千円を毎年積み立て、ASPAC 大会開催に役立てる計画。詳細は皆様に図りながら決めていく。議長が審議を求めたところ、満場一致で承認された。



報告事項 1：2015-2016 年度事業経過報告並びに決算見込み

事務総長から資料に沿って、本年度 7 月末時点での事業経過報告があった。主な内容は、①沖縄にクラブ新設の目途、②サークル K 武蔵野大学の発足、③エリミネイト・プロジェクトのプレッジ達成状況、④災害義援金や KIF への資金協力内容である。

続いて事務総長から 2015-2016 年度決算見込みの報告があった。委員会活動の活性化により委員会活動費が少し増えているほかは、ほぼ例年通り。

報告事項 2：キワニス日本財団（KJF）からの報告

小池理事長から、KJFの平成29年度事業計画書(案)の概要が報告された。

報告事項3: キワニス共同基金からの報告

佐藤運営委員長から、本年度7月末までの支援活動及び収支報告があった。本委員会の活動は今年9月末で終了する。残金が50万円程度残るが、これは札幌・千葉クラブへの支援に使う予定。これまで全世界・全国のキワニアンに多大なご支援をいただき感謝している。



報告事項4: 熊本地震の報告



甲斐熊本ク

ラブ会長から義援金への謝意が述べられた。金額も莫大だったが、キワニスの力を見せつけられた。震災直後から食料、次いで下着類、簡易トイレ等が続々と届けられた。使い道はこれから検討したい。これからも頑張るので見守ってほしい。

次いで、田島大分クラブ会長からも謝意が述べられた。大分クラブでは、いただいた義援金で10月22日のキワニスワンデーに湯布院小学校に東北大学の教授をお呼びして減災カードゲームをする予定。

報告事項5: エリミネイト・プロジェクトの報告

北里エリミネイト・アドボケイトから、世界全体及び日本地区の達成状況についての説明があった。エリミネイト・プロジェクトはアクティブ・フェーズが終わり、フルフィルメント・フェーズに入った。日本地区は大変成績が良く、感謝している。プレッジ未達成クラブは達成に向けて引き続きご協力願いたい。



報告事項6: ネパールからの報告



2015年4月25日にネパール大地震が起き、9,000人以上が死亡、17,000人以上が負傷、およそ320万人の子ども達が家を失った。この時、日本地区とオーストリア地区の皆様から義援金をいただいた。これを受け、ネパール・ルンビニ・クラブでは2つのプロジェクトを立ち上げることができた。被災した子ども達への学用品支援と、学習センターの設立である。これら2つのプロジェクトにより、多くの子ども達が恩恵を受けている。ネパールの子も達や地域にご支援をいただいた日本地区に、心よりお礼申し上げる。

5. 第41回日本地区年次総会開催地会長挨拶

松江クラブの金田会長から、来年9月8日(金)にホテル一畑に於いて松江大会を開催するので、是非、多数のご参加をお願いしたいとの挨拶があった。





6. 表彰式

(1) 第52回日本キワニス文化賞

西宮少年合唱団団長 中西覚氏

(2) 国際キワニス/国際キワニス財団からの表彰伝達

(3) 日本地区の表彰